

## 廃棄物最終処分場の放流水等に係る実態調査結果 (一般廃棄物最終処分場の放流水等に係る直近 3 カ年の実態調査結果)

### 1 一般廃棄物最終処分場の浸出水及び放流水の状況

#### (1) 調査対象

全国の一般廃棄物最終処分場において、平成 23 年度から 25 年度に実施された浸出水及び放流水の水質検査結果（依頼に対して提供されたデータを集計）。

#### (2) 調査結果

浸出水<sup>※1)</sup>については 12 施設、放流水については、3 施設<sup>※2)</sup>で環境基準(0.003mg/L。以下この資料において同じ。)の 10 倍値を超過していた。

※ 1) 廃止確認時にのみ基準を適用する。

※ 2) うち 1 施設については、下水道に放流する水の水質測定結果。なお、当該施設の排水は、全量下水道に接続しており、直接公共用水域に排水されることはない。

表 1 一般廃棄物最終処分場 浸出水の状況

項 目	カドミウム (mg/L)		
	H23 年度	H24 年度	H25 年度
最大値 (mg/L)	0.092	0.420	0.100
中央値 (mg/L)	0.001	0.001	0.001
現行基準値(排水基準) (mg/L)	(0.1)	(0.1)	(0.1)
調査施設数 (ヶ所)	963	976	994
現行基準値超過数 (ヶ所)	(0)	(2)	(0)
環境基準 10 倍値超過数 (ヶ所)	5	6	6
処分場数 (ヶ所)	1,772	1,742	1,722

注 1) 平成 26 年度調査結果による。

注 2) 調査結果(測定値のアンケート)が検出下限値未満(N. D.)の場合はゼロとみなし、検出下限以上、定量下限未満の場合には、定量下限値の 1/2 とみなして算出。

注 3) 中央値とは、各最終処分場の測定結果の最大値を、小さい順に並べたとき中央に位置する値である。なお、調査結果の多くは定量下限値未満のため、中央値は、各施設での水質測定における定量下限値設定の影響が大きい値となっている参考値である（図 1 参照）。

注 4) 現行基準値（排水基準）とは、一般廃棄物最終処分場の廃止の技術上の基準として適用する場合の基準値。

表2 一般廃棄物最終処分場 **放流水**の状況

項目	カドミウム (mg/L)		
	H23 年度	H24 年度	H25 年度
最大値 (mg/L)	0.088	0.095	0.088
中央値 (mg/L)	0.003	0.003	0.003
現行基準値(排水基準) (mg/L)	0.1	0.1	0.1
調査施設数 (ヶ所)	1,293	1,307	1,317
現行基準値超過数 (ヶ所)	0	0	0
環境基準 10 倍値超過数 (ヶ所)	2	1	2
処分場数 (ヶ所)	1,772	1,742	1,722

注 1) 平成 26 年度調査結果による。

注 2) 調査結果(測定値のアンケート)が検出下限値未満(N. D.)の場合はゼロとみなし、検出下限以上、定量下限未満の場合には、定量下限値の 1/2 とみなして算出。

注 3) 中央値とは、各最終処分場の測定結果の最大値を、小さい順に並べたとき中央に位置する値である。なお、調査結果の多くは定量下限値未満のため、中央値は、各施設での水質測定における定量下限値設定の影響が大きい値となっている参考値である(図 2 参照)。

注 4) 環境基準 10 倍値超過数のうち 1 施設については、下水道に放流する水の水質測定結果。なお、当該施設の排水は、全量下水道に接続しており、直接公共用水域に排水されることはない。

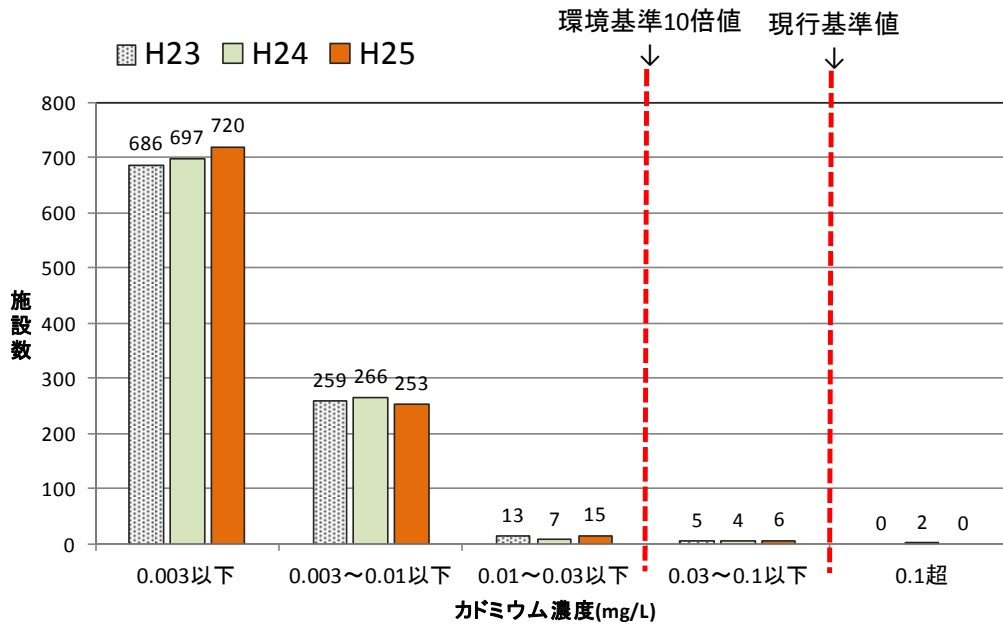


図1 一般廃棄物最終処分場 浸出水中のカドミウム濃度分布

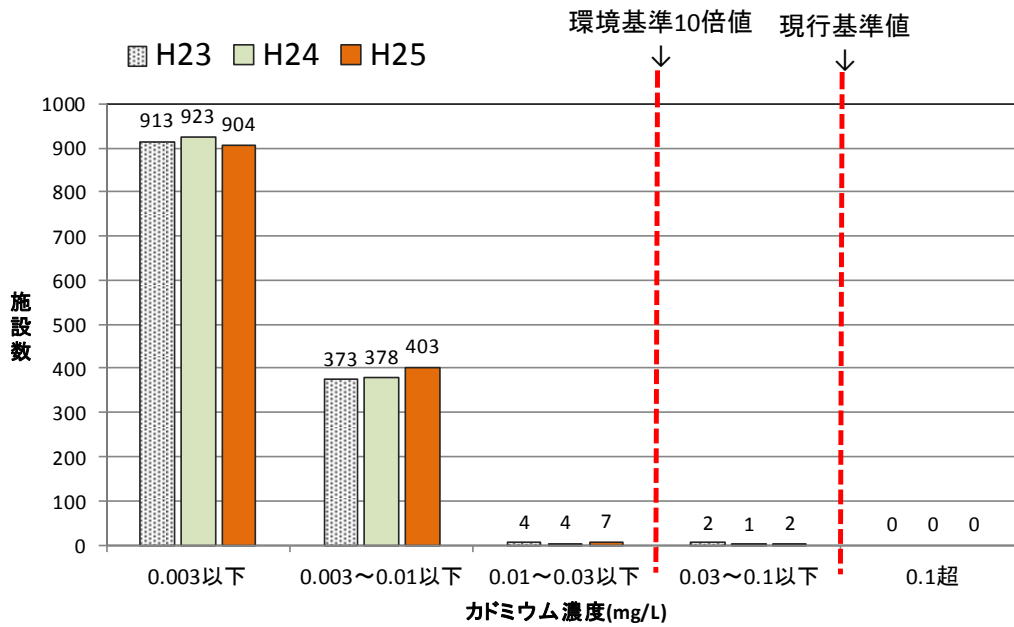


図2 一般廃棄物最終処分場 放流水中のカドミウム濃度分布

## 2 浸出水及び放流水が環境基準の10倍値を超過していた施設の状況

### (1) 調査対象

平成23年度から25年度の浸出水及び放流水が環境基準の10倍値を超過した一般廃棄物最終処分場14施設について、施設の状況の聞き取りを行った。

### (2) 覆土の状況

即日覆土30cm、廃棄物の埋立が2～4mに達した段階で50cm覆土、中間覆土なしと施設により異なる。対象施設数が少ないことから、特徴的な状況は確認できなかった。

### (3) 埋立廃棄物の性状等

廃棄物の性状は、焼却灰14施設、ばいじんを処理したもの14施設、スラグ3施設、処理施設で破碎・選別後の不燃残渣13施設、不燃ごみの直接埋立2施設、その他であった。対象施設数が少ないことから、特徴的な廃棄物の性状や組み合わせ状況は確認できなかった。

### (4) 浮遊物質量とカドミウム濃度の関係

浮遊物質量とカドミウム濃度の関係については、明確な相関は確認できなかったが、浸出水では、浮遊物質量が多いほどカドミウム濃度が高くなる傾向が見られる施設もあった。

### (5) 各施設の対応状況等

表3 各施設の浸出水及び放流水の測定値と対応状況等

施設名	カドミウム濃度 (mg/L) (上段: 浸出水、下段: 放流水)						埋立状況	対応状況等
	H20	H21	H22	H23	H24	H25		
A施設	0.045	0.008	0.040	0.054	0.036	0.029		水処理後に焼却施設冷却水として循環利用しており、放流水なし。 当面、埋立を継続する。
	--	--	--	--	--	--		
B施設	0.030	<0.01	<0.01	0.040	<0.01	0.022		水処理後に下水道に接続しているため、放流水なし。 当面、埋立を継続する。
	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01		
C施設	0.038	0.061	0.032	0.048	0.014	0.019	終了	埋立終了しているが、他の水質検査項目について状況確認を継続しており、 <u>当面</u> 、 <u>維持管理を継続する</u> 予定。
	0.012	0.015	0.012	<0.005	0.008	0.010		

D 施設	<b>0.061</b>	0.027	<b>0.059</b>	<b>0.092</b>	<b>0.420</b>	<b>0.100</b>	終了	埋立終了しているが、 <u>周辺整備</u> を行っており、 <u>当面、維持管理を継続</u> する予定。
	0.005	0.006	<0.005	0.017	<0.005	<0.003		
E 施設	--	0.011	0.016	<b>0.042</b>	0.006	0.013		水処理後に下水道に接続しているため、放流水なし。 当面、埋立を継続する。
	--	<i>0.009</i>	<i>0.016</i>	<i>0.008</i>	<i>0.010</i>	<i>0.008</i>		
F 施設	--	0.011	0.006	0.030	<b>0.050</b>	<b>0.043</b>	終了	水処理後に焼却施設冷却水として循環利用しており、放流水なし。 埋立終了しているが、 <u>当面、状況確認を継続</u> 予定のため、 <u>維持管理を継続</u> する。
	--	--	--	--	--	--		
G 施設	0.011	0.014	<b>0.031</b>	0.019	<b>0.130</b>	<b>0.046</b>		水処理後に下水道に接続しているため、放流水なし。 当面、埋立を継続する。
	<0.001	<i>0.001</i>	<i>0.002</i>	<i>0.002</i>	<i>0.002</i>	<i>0.001</i>		
H 施設	0.015	0.005	0.015	ND	<b>0.073</b>	0.016		水処理後に処分場内に散水するため、放流水なし。 当面、埋立を継続する。
	未稼働	未稼働	未稼働	<i>0.001</i>	<i>ND</i>	<i>ND</i>		
I 施設	--	--	--	--	--	--		放流水質の改善方策としては、稼働させていなかった凝集沈殿槽②を平成27年度より稼働させる予定。 当面、埋立を継続する。
	<0.005	<0.005	<0.005	<b>0.088</b>	<b>0.095</b>	<b>0.088</b>		
J 施設	<b>0.033</b>	0.026	<b>0.040</b>	--	0.006	<b>0.033</b>		水処理後に下水道に接続しているため、放流水なし。 当面、埋立を継続する。 基準に適合しないようなことがあれば、水処理施設の変更を検討する。
	<i>0.027</i>	<i>0.028</i>	<b>0.040</b>	<b>0.040</b>	<i>0.030</i>	<i>0.030</i>		
K 施設	--	--	--	--	--	--		被覆型の処分場で、埋立終了後は保有水等は発生しない。平成25年度は散水用井戸ポンプ故障により、一時的に高濃度の浸出水が発生したことが考えられる。
	0.012	0.012	0.029	0.009	<0.005	<b>0.035</b>		
L 施設	0.012	0.005	0.005	<0.001	0.004	<b>0.047</b>		当面、埋立を継続する。
	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001		
M 施設	<0.005	<0.005	<0.005	0.005	<b>0.092</b>	0.024		水処理後に下水道に接続しているため、放流水なし。 当面、埋立を継続する。
	--	--	--	--	--	--		
N 施設	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<b>0.036</b>	終了	埋立終了しているが、 <u>他の水質検査項目が廃止の自主基準を超過</u> しており、 <u>当面、維持管理を継続</u> する予定。
	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001		

注) 下水道に放流する、または処分場内で散水する等により循環利用する水の水質測定結果は斜体で示す。

### 3 各施設の聞き取り結果

#### A 施設

##### (1) 浸出水・放流水のカドミウム濃度

浸出水は、平成 20 年度及び平成 22～24 年度において 0.03mg/L を上回ったが、平成 25 年度は 0.03mg/L を下回っている。また、浸出水は水処理後に焼却施設冷却水として循環利用しており、直接公共用水域に排水されることはない。

表4 A 施設 浸出水・放流水の測定結果

施設名	区分	カドミウム測定値 (mg/L)					
		H20	H21	H22	H23	H24	H25
A 施設	浸出水	0.045	0.008	0.040	0.054	0.036	0.029
	放流水	-- (未測定)	-- (未測定)	-- (未測定)	-- (未測定)	-- (未測定)	-- (未測定)

##### (2) 埋立廃棄物の性状等

- 焼却灰（焼却灰、飛灰処理物）64%
  - 不燃残渣（処理施設で破碎、選別した鉄くずを除いた金属・陶磁器などの残渣）36%
- 廃棄物の埋立が 3m に達した段階で覆土 50cm を行う
- 埋立廃棄物量 136,384t、覆土量 23,682t

##### (3) 水処理フロー

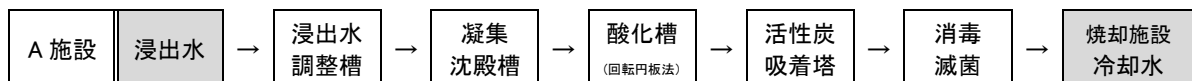


図3 A 施設の水処理フロー図

##### (4) カドミウム濃度と浮遊物質量との関係

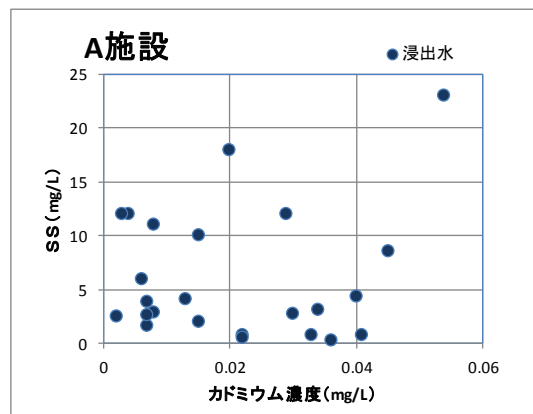


図4 A 施設 浸出水のカドミウム濃度と浮遊物質量との関係

## B 施設

### (1) 浸出水・放流水のカドミウム濃度

浸出水は、平成 23 年度において 0.03mg/L を上回ったが、他の年度は 0.03mg/L を下回っている。また、浸出水は水処理後に下水道に接続しており、下水道に放流する水の水質測定結果（斜体）は、平成 20 年度以降、継続して 0.03mg/L を下回っている。

表5 B 施設 浸出水・放流水の測定結果

施設名	区分	カドミウム測定値 (mg/L)					
		H20	H21	H22	H23	H24	H25
B 施設	浸出水	0.030	<0.01 (定量下限値)	<0.01 (定量下限値)	0.040	<0.01 (定量下限値)	0.022
	放流水	<0.01 (定量下限値)	<0.01 (定量下限値)	<0.01 (定量下限値)	<0.01 (定量下限値)	<0.01 (定量下限値)	<0.01 (定量下限値)

### (2) 埋立廃棄物の性状等

○混合灰（焼却灰、飛灰処理物）82%

不燃残渣（処理施設で破碎、選別した鉄くず・アルミを除いた金属・陶磁器などの残渣）18%

○廃棄物の埋立が 3m に達した段階で覆土 50cm を行う

○埋立廃棄物量 51,696t、覆土量 4,605m<sup>3</sup>

### (3) 水処理フロー

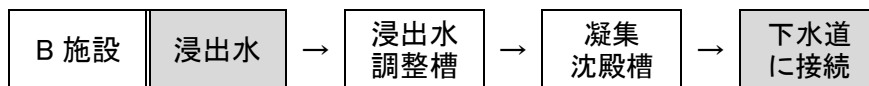


図5 B 施設の水処理フロー図

### (4) カドミウム濃度と浮遊物質との関係

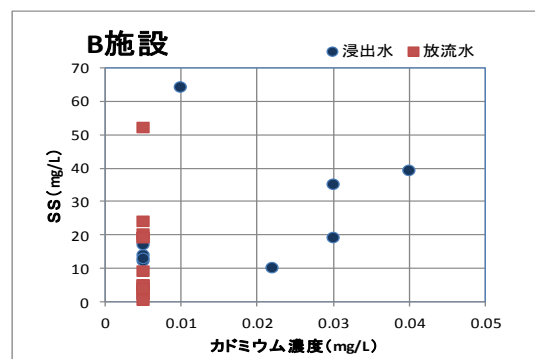


図6 B 施設 浸出水・放流水のカドミウム濃度と浮遊物質との関係

**C施設**（前回資料3 C施設）

(1) 浸出水・放流水のカドミウム濃度

平成20～23年度は浸出水において0.03mg/Lを上回っていたが、平成24年度以降は0.03mg/Lを下回っている。また、放流水においては平成20年度以降、継続して0.03mg/Lを下回っている。

表6 C施設 **浸出水・放流水**の測定結果

施設名	区分	カドミウム測定値(mg/L)					
		H20	H21	H22	H23	H24	H25
C施設	浸出水	<b>0.038</b>	<b>0.061</b>	<b>0.032</b>	<b>0.048</b>	0.014	0.019
	放流水	0.012	0.015	0.012	<0.005 (定量下限値)	0.008	0.010

(2) 埋立廃棄物の性状等

- 焼却残渣（焼却灰、飛灰処理物）62%  
不燃残渣（処理施設で破碎、選別した鉄くず・アルミを除いた金属・陶磁器などの残渣）38%
- 廃棄物の埋立が3mに達した段階で覆土50cmを行う
- 埋立廃棄物量82,817t、覆土量8,561m<sup>3</sup>

(3) 水処理フロー

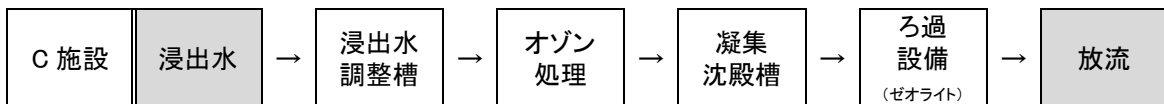


図7 C施設の水処理フロー図

(4) カドミウム濃度と浮遊物質との関係

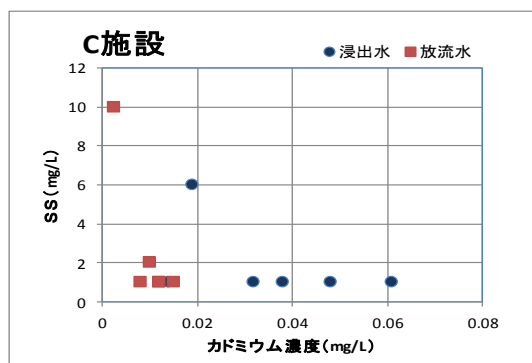


図8 C施設 **浸出水・放流水**のカドミウム濃度と浮遊物質との関係



**D施設** (前回資料3 D施設)

(1) 浸出水・放流水のカドミウム濃度

浸出水は、平成20年度及び平成22～25年度において0.03mg/Lを上回っている。放流水においては平成20年度以降、継続して0.03mg/Lを下回っている。

表7 D施設 **浸出水・放流水**の測定結果

施設名	区分	カドミウム測定値(mg/L)					
		H20	H21	H22	H23	H24	H25
D施設	浸出水	<b>0.061</b>	0.027	<b>0.059</b>	<b>0.092</b>	<b>0.420</b>	<b>0.100</b>
	放流水	0.005	0.006	<0.005 (定量下限値)	0.017	<0.005 (定量下限値)	<0.003 (定量下限値)

(2) 埋立廃棄物の性状等

- 焼却灰 36%、飛灰処理物 14%、混合灰（焼却灰、飛灰処理物） 24%  
不燃残渣（処理施設で破碎、選別した鉄くず・アルミを除いた金属・陶磁器などの残渣） 15%、その他 11%
- 廃棄物の埋立が 3m に達した段階で覆土 50cm を行う
- 埋立廃棄物量 327,776t、覆土量 45,748m<sup>3</sup>

(3) 水処理フロー

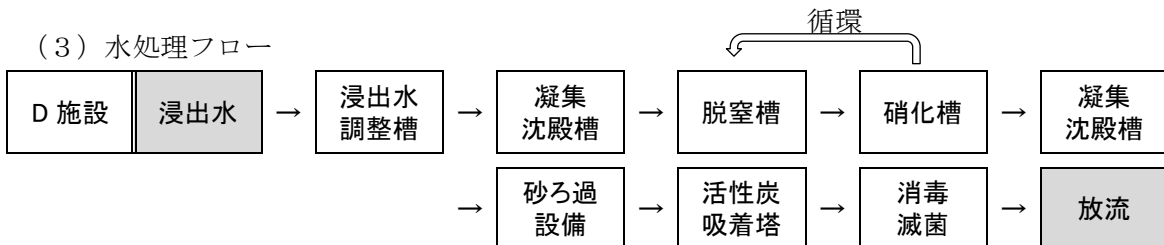


図9 D施設の水処理フロー図

(4) カドミウム濃度と浮遊物質との関係

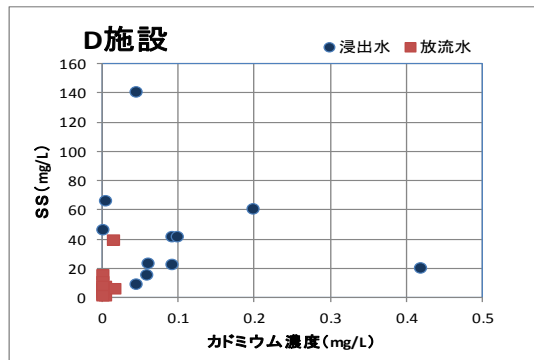


図10 D施設 **浸出水・放流水**のカドミウム濃度と浮遊物質との関係

**E 施設**

(1) 浸出水・放流水のカドミウム濃度

浸出水は、平成 23 年度において 0.03mg/L を上回ったが、他の年度は 0.03mg/L を下回っている。また、浸出水は水処理後に下水道に接続しており、下水道に放流する水の水質測定結果（斜体）は、記録のある平成 21 年度以降、継続して 0.03mg/L を下回っている。

表8 E 施設 **浸出水・放流水**の測定結果

施設名	区分	カドミウム測定値(mg/L)					
		H20	H21	H22	H23	H24	H25
E 施設	浸出水	— (記録なし)	0.011	0.016	<b>0.042</b>	0.006	0.013
	放流水	— (記録なし)	<i>0.009</i>	<i>0.016</i>	<i>0.008</i>	<i>0.010</i>	<i>0.008</i>

(2) 埋立廃棄物の性状等

○焼却灰 59%、飛灰処理物 23%

不燃残渣等（処理施設で破碎、選別した鉄くず・アルミを除いた金属・陶磁器などの残渣）18%

○即日覆土 30cm 程度を行う

○埋立廃棄物量 232,568t、覆土量 10,474t

(3) 水処理フロー

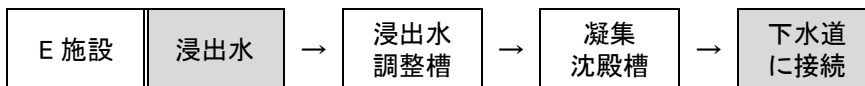


図11 E 施設の水処理フロー図

(4) カドミウム濃度と浮遊物質質量との関係

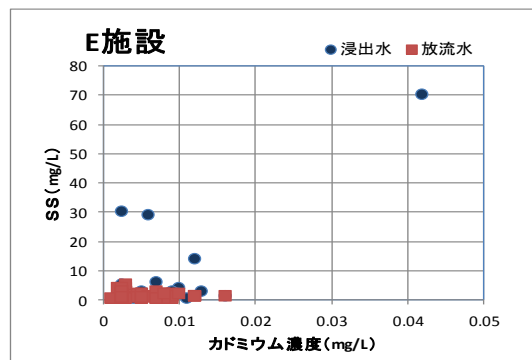


図12 E 施設 **浸出水・放流水**のカドミウム濃度と浮遊物質質量との関係

**F 施設**

(1) 浸出水・放流水のカドミウム濃度

浸出水は、平成 24～25 年度において 0.03mg/L を上回っている。また、浸出水は水処理後に焼却施設冷却水として循環利用しており、直接公共用水域に排水されることはない。

表9 F 施設 **浸出水・放流水**の測定結果

施設名	区分	カドミウム測定値(mg/L)					
		H20	H21	H22	H23	H24	H25
F 施設	浸出水	-- (記録なし)	0.011	0.006	0.030	<b>0.050</b>	<b>0.043</b>
	放流水	-- (未測定)	-- (未測定)	-- (未測定)	-- (未測定)	-- (未測定)	-- (未測定)

(2) 埋立廃棄物の性状等

○焼却灰 62%、飛灰処理物 13%

不燃残渣（処理施設で破碎、選別した瓶・陶磁器などの残渣）25%

○計画では即日覆土であったが、現在は週 1 回 50cm～100cm 程度の覆土を実施

○埋立廃棄物量 14,448t、覆土量 不明

(3) 水処理フロー

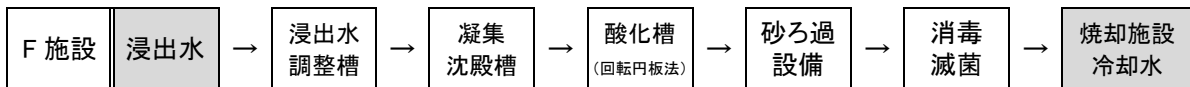


図13 F 施設の水処理フロー図

(4) カドミウム濃度と浮遊物質との関係

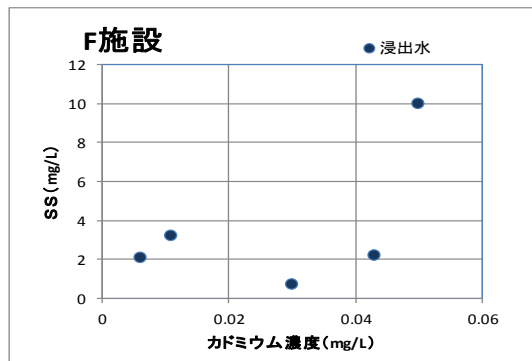


図14 F 施設 **浸出水**のカドミウム濃度と浮遊物質との関係

**G 施設**

(1) 浸出水・放流水のカドミウム濃度

浸出水は、平成 22 年度及び平成 24～25 年度において 0.03mg/L を上回っている。また、浸出水は水処理後に下水道に接続しており、下水道に放流する水の水質測定結果（斜体）は、平成 20 年度以降、継続して 0.03mg/L を下回っている。

表10 G 施設 **浸出水・放流水**の測定結果

施設名	区分	カドミウム測定値(mg/L)					
		H20	H21	H22	H23	H24	H25
G 施設	浸出水	0.011	0.014	<b>0.031</b>	0.019	<b>0.130</b>	<b>0.046</b>
	放流水	<i>&lt;0.001</i> (定量下限値)	<i>0.001</i>	<i>0.002</i>	<i>0.002</i>	<i>0.002</i>	<i>0.001</i>

(2) 埋立廃棄物の性状等（埋立廃棄物の性状と量は H20～平成 25 年度の値を記載）

- 一般廃棄物（焼却灰、ばいじん処理物等）16%  
産業廃棄物（焼却灰 38%、ばいじん 6%、ガラスくず等 16%、がれき類 13%、汚泥 11%、)
- 廃棄物の埋立が 2m に達した段階で覆土 50cm を行う
- 埋立廃棄物量 1,003,857t、覆土量 73,420m<sup>3</sup>

(3) 水処理フロー

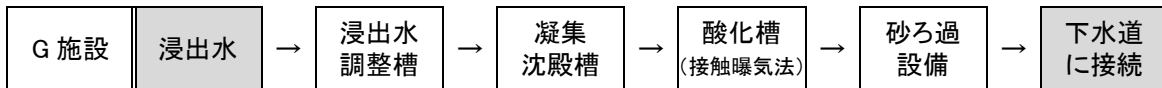


図15 G 施設の水処理フロー図

(4) カドミウム濃度と浮遊物質ととの関係

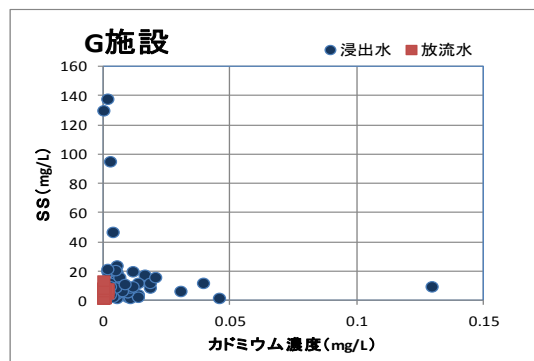


図16 G 施設 **浸出水・放流水**のカドミウム濃度と浮遊物質ととの関係

## H 施設

### (1) 浸出水・放流水のカドミウム濃度

浸出水は、平成 24 年度において 0.03mg/L を上回ったが、他の年度は 0.03mg/L を下回っている。また、浸出水は水処理後に処分場内に散水しており、水処理後の水質検査結果(斜体)は、施設稼働後、継続して 0.03mg/L を下回っている。

表 11 H 施設 浸出水・放流水の測定結果

施設名	区分	カドミウム測定値(mg/L)					
		H20	H21	H22	H23	H24	H25
H 施設	浸出水	0.015	0.005	0.015	ND	0.073	0.016
	放流水	-- (未稼働)	-- (未稼働)	-- (未稼働)	0.001	ND	ND

### (2) 埋立廃棄物の性状等

○焼却灰 50%、飛灰処理物 33%

破砕不燃物(処理施設で破砕、選別した鉄くず・可燃物以外の残渣) 17%

○廃棄物の埋立が 4m に達した段階で覆土 50cm を行う

○埋立廃棄物量 10,150t、覆土量 2,220m<sup>3</sup>

### (3) 水処理フロー

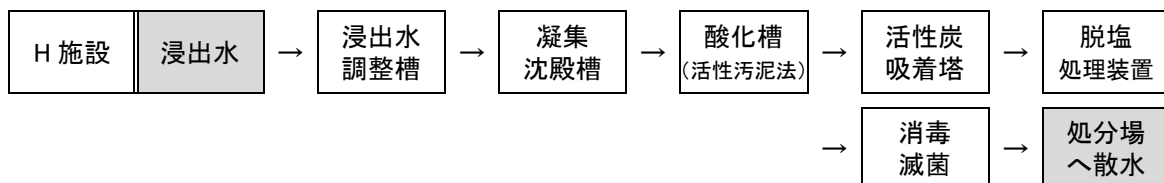


図 17 H 施設の水処理フロー図

### (4) カドミウム濃度と浮遊物質量との関係

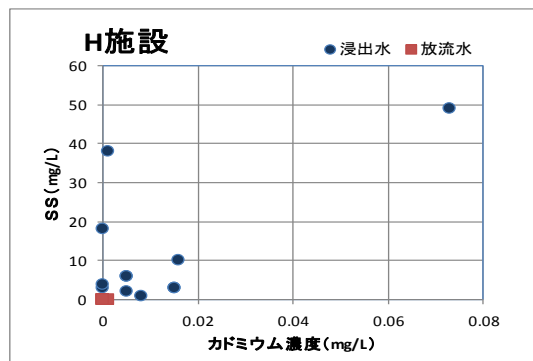


図 18 H 施設 浸出水・放流水のカドミウム濃度と浮遊物質量との関係

**I 施設**

(1) 浸出水・放流水のカドミウム濃度

浸出水については水質未測定である。放流水は、平成 20～22 年度は 0.03mg/L を下回っていたが、平成 23 年度以降は 0.03mg/L を上回っている。

表 12 I 施設 浸出水・放流水の測定結果

施設名	区分	カドミウム測定値(mg/L)					
		H20	H21	H22	H23	H24	H25
I 施設	浸出水	-- (未測定)	-- (未測定)	-- (未測定)	-- (未測定)	-- (未測定)	-- (未測定)
	放流水	<0.005 (定量下限値)	<0.005 (定量下限値)	<0.005 (定量下限値)	<b>0.088</b>	<b>0.095</b>	<b>0.088</b>

(2) 埋立廃棄物の性状等

- 混合灰（焼却灰、飛灰処理物）54%、民間焼却施設からの飛灰処理物 2%  
不燃物（家電リサイクル法対象外の大型家電等の粗大ごみを直接埋立）44%
- 廃棄物の埋立が 2m に達した段階で覆土 50cm を行う
- 埋立廃棄物量 10,041t、覆土量 2,851t

(3) 水処理フロー

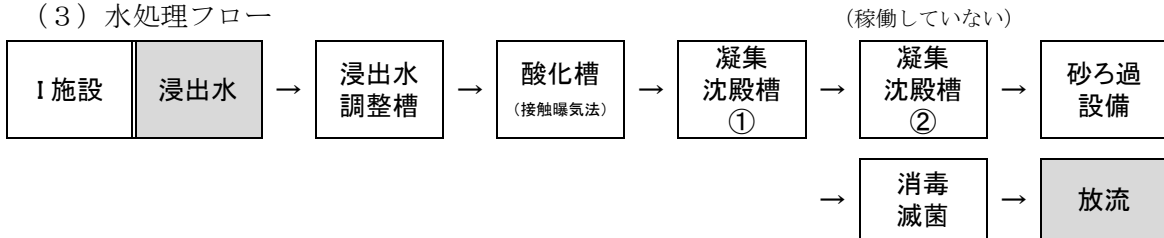


図 19 I 施設の水処理フロー図

(4) カドミウム濃度と浮遊物質量との関係

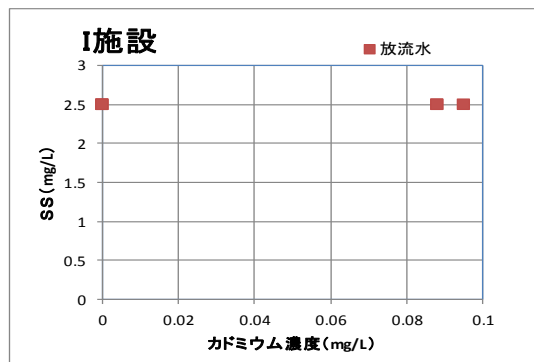


図 20 I 施設 **放流水** のカドミウム濃度と浮遊物質量との関係

**J 施設**

(1) 浸出水・放流水のカドミウム濃度

浸出水は、平成 20 年度、22 年度及び 25 年度において 0.03mg/L を上回っている。また、浸出水はろ過後に下水道に接続しており、下水道に放流する水の水質測定結果（斜体）は、平成 22～23 年度は 0.03mg/L を上回ったが、24 年度以降は 0.03mg/L を下回っている。

表 13 J 施設 **浸出水・放流水**の測定結果

施設名	区分	カドミウム測定値(mg/L)					
		H20	H21	H22	H23	H24	H25
J 施設	浸出水	<b>0.033</b>	0.026	<b>0.040</b>	--- (未測定)	0.006	<b>0.033</b>
	放流水	<i>0.027</i>	<i>0.028</i>	<b>0.040</b>	<b>0.040</b>	<i>0.030</i>	<i>0.030</i>

(2) 埋立廃棄物の性状等

- 焼却灰 21%、焼却残渣・スラグ（飛灰処理物、熔融飛灰処理物、熔融スラグ）56%  
不燃ごみ（処理施設で破碎、選別した資源物・可燃物以外の残渣）23%、
- 即日覆土 30cm を行う
- 埋立廃棄物量 141,075t、覆土量 44,210t

(3) 水処理フロー

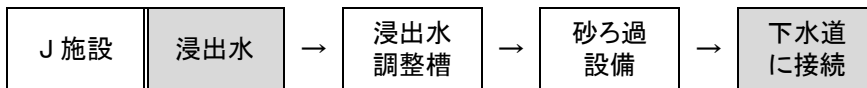


図 21 J 施設の水処理フロー図

(4) カドミウム濃度と浮遊物質との関係

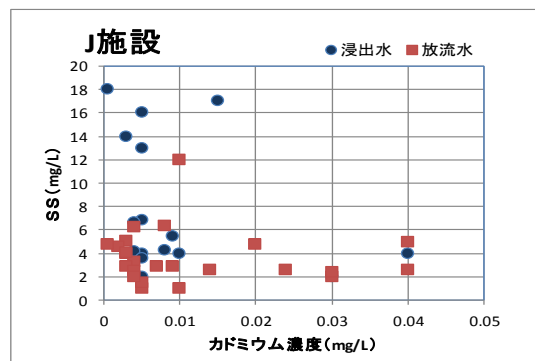


図 22 J 施設 **浸出水・放流水**のカドミウム濃度と浮遊物質との関係

**K 施設**

(1) 浸出水・放流水のカドミウム濃度

浸出水については水質未測定である。放流水は、平成 25 年度のみ 0.03mg/L を上回った。

表 14 K 施設 **浸出水・放流水**の測定結果

施設名	区分	カドミウム測定値(mg/L)					
		H20	H21	H22	H23	H24	H25
K 施設	浸出水	-- (未測定)	-- (未測定)	-- (未測定)	-- (未測定)	-- (未測定)	-- (未測定)
	放流水	0.012	0.012	0.029	0.009	<0.005 (定量下限値)	<b>0.035</b>

(2) 埋立廃棄物の性状等

○焼却灰（焼却灰、飛灰処理物） 52%

破碎不燃物（処理施設で破碎、選別した鉄くず・アルミを除いた金属・陶磁器の残渣） 48%

○中間覆土なし

○埋立廃棄物量 1,901t、覆土量 なし

(3) 水処理フロー

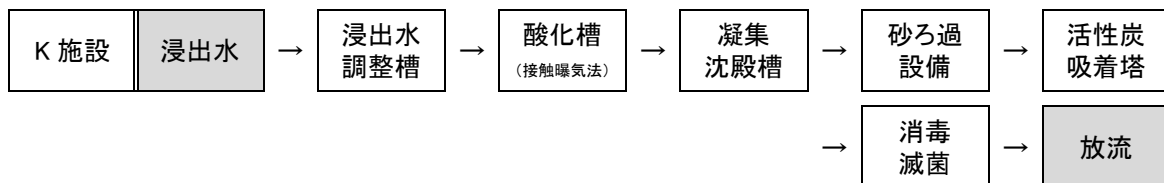


図 23 K 施設の水処理フロー図

(4) カドミウム濃度と浮遊物質との関係

K 施設は、カドミウム測定用の採水日と、浮遊物質測定用の採水日が異なっている。



**L施設**

(1) 浸出水・放流水のカドミウム濃度

浸出水は、平成 25 年度において 0.03mg/L を上回ったが、他の年度は 0.03mg/L を下回っている。また、放流水においては平成 20 年度以降、継続して 0.03mg/L を下回っている。

表 15 L施設 **浸出水・放流水**の測定結果

施設名	区分	カドミウム測定値(mg/L)					
		H20	H21	H22	H23	H24	H25
L施設	浸出水	0.012	0.005	0.005	<0.001 (定量下限値)	0.004	<b>0.047</b>
	放流水	<0.001 (定量下限値)	<0.001 (定量下限値)	<0.001 (定量下限値)	<0.001 (定量下限値)	<0.001 (定量下限値)	<0.001 (定量下限値)

(2) 埋立廃棄物の性状等

○焼却灰・飛灰処理物 68%

粗大・資源不燃残渣（処理施設で破碎、選別した鉄くず・アルミ・可燃物以外の残渣）24%、埋立ごみ（陶磁器等の不燃物を直接埋立）8%

○中間覆土なし

○埋立廃棄物量 57,971t、覆土量 3,400t（埋立終了に伴う最終覆土）

(3) 水処理フロー

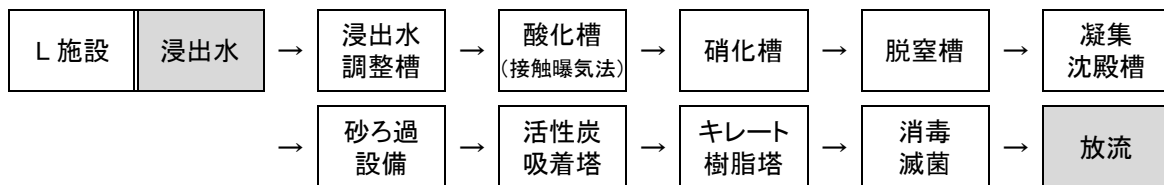


図 24 L施設の水処理フロー図

(4) カドミウム濃度と浮遊物質質量との関係

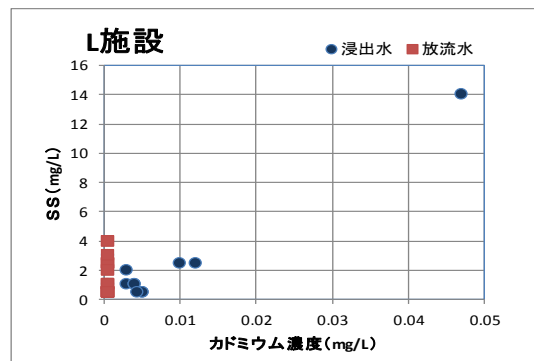


図 25 L施設 **浸出水・放流水**のカドミウム濃度と浮遊物質質量との関係

**M 施設**

(1) 浸出水・放流水のカドミウム濃度

浸出水は、平成 24 年度において 0.03mg/L を上回ったが、他の年度は 0.03mg/L を下回っている。また、浸出水は水処理後に下水道に放流しており、直接公共用水域に排水されることはない。

表 16 M 施設 **浸出水・放流水** の測定結果

施設名	区分	カドミウム測定値 (mg/L)					
		H20	H21	H22	H23	H24	H25
M 施設	浸出水	<0.005 (定量下限値)	<0.005 (定量下限値)	<0.005 (定量下限値)	0.005	<b>0.092</b>	0.024
	放流水	-- (未測定)	-- (未測定)	-- (未測定)	-- (未測定)	-- (未測定)	-- (未測定)

(2) 埋立廃棄物の性状等

- 焼却灰及び飛灰成形品（飛灰処理物）33%、焼却不燃物（焼却炉から排出される灰以外の不燃物）25%、スラグ 5%
- 不燃残渣（処理施設で破碎、選別したプラ成型品）37%
- 廃棄物の埋立が 3m に達した段階で覆土 50cm を行う
- 埋立廃棄物量 69,500t、覆土量 11,529m<sup>3</sup>

(3) 水処理フロー

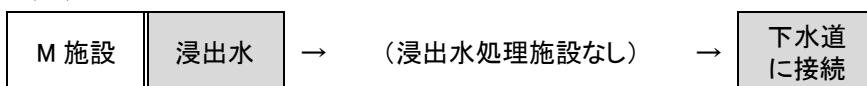


図 26 M 施設の水処理フロー図

(4) カドミウム濃度と浮遊物質質量との関係

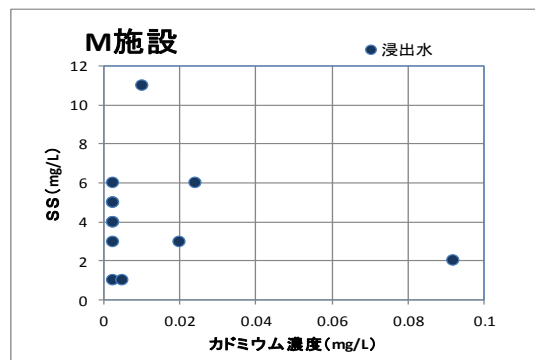


図 27 M 施設 **浸出水** のカドミウム濃度と浮遊物質質量との関係

## N 施設

### (1) 浸出水・放流水のカドミウム濃度

浸出水は、平成 25 年度において 0.03mg/L を上回っている。放流水においては平成 20 年度以降、継続して 0.03mg/L を下回っている。

表 17 N 施設 浸出水・放流水の測定結果

施設名	区分	カドミウム測定値 (mg/L)					
		H20	H21	H22	H23	H24	H25
N 施設	浸出水	<0.001 (定量下限値)	<0.001 (定量下限値)	<0.001 (定量下限値)	<0.001 (定量下限値)	<0.001 (定量下限値)	0.036
	放流水	<0.001 (定量下限値)	<0.001 (定量下限値)	<0.001 (定量下限値)	<0.001 (定量下限値)	<0.001 (定量下限値)	<0.001 (定量下限値)

### (2) 埋立廃棄物の性状等

○焼却灰 38%、飛灰（飛灰処理物）・スラグ 5%

破砕残渣（処理施設で破砕、選別した鉄くず・可燃物以外の残渣、廃プラ系の減容物）57%、

○廃棄物の埋立が 3m に達した段階で覆土 50cm を行う

○埋立廃棄物量 83,532t、覆土量 27,863m<sup>3</sup>

### (3) 水処理フロー

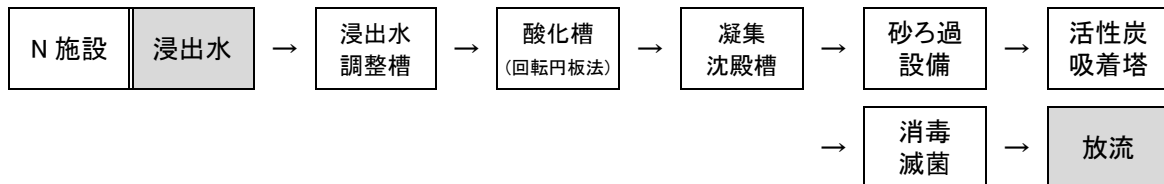


図 28 N 施設の水処理フロー図

### (4) カドミウム濃度と浮遊物質量との関係

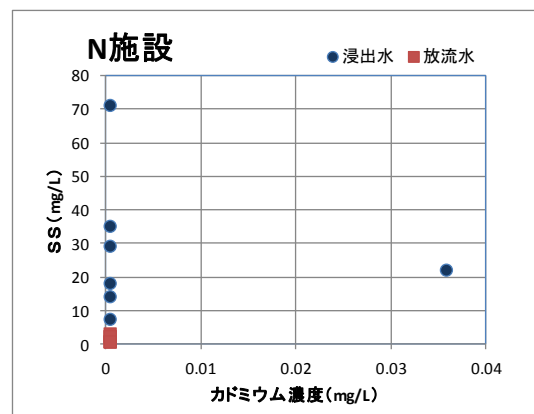


図 29 N 施設 浸出水・放流水のカドミウム濃度と浮遊物質量との関係